

原点 回帰

3.11 から 3 年半が経ちました。

すでに 3.11 以前の暮らしに戻り、何もなかったかのように過ごしている方も多いのではないのでしょうか。平穏な日々を取り戻しつつ景気も良くなってきたなと思えば、それはそれで安心材料といえるのでしょうか。ただ、3.11 が大きな転換点だったと考えた場合、いまの自分のあり方に何となく違和感を覚えるかも知れません。

ビジネスの場面では、「何となく」という理由を説明しても全く受け入れてもらえませんが、私はこの「何となく」という漠然とした想いや直観的な閃きの中に、とても大切なものがあると思えてなりません。それは、自分の記憶か何かの根源的なところから湧き出てくるような印象をもちます。

これらは考えても答えに辿りつかない気がします。

考えれば考えるほど知っていることに当てはめてしまい、本質から遠ざかっていきそうです。寧ろ言葉にする必要はなく、そのまま放置しておくことでいつか何かのきっかけで気づくものではないのでしょうか。

このような感覚は、健康なところと身体によって培われていくものだと感じます。心身ともに健康であれば、自分の直感を信じ、自分らしく生きることに疑う余地がなくなっていくような気がします。さらに自分以外のことに目を向ける余裕が生まれ、考えや行動の健全性が高まることにつながります。

この『原点回帰』という企画は、興梠 守氏と弊社とのコラボレーションにより生まれました。興梠氏は温熱療法のプロです。20 年数年来、私は興梠氏のアドバイスをファーストオピニオンとしてお聴きし、私なりに実体験を重ねてきました。それを皆さんにも味わってもらいたいと思い企画しました。まずは私の周囲の方々や弊社のステークホルダーに元気になってもらいたいと思っています。それをしくみとして、つくっていきたいと考えています。

皆さんに元気になってもらうことによって、皆さんご自身が社会に役立つ仕事や活動の原動力になってもらいたいと思っています。

さらに企業活動の視点で見ると、社員やその家族あるいはクライアントや株主が健康でいることが企業にとって如何に大切であり、企業の活力や健全性にとって不可欠なものであることが理解されてくると考えています。

健康な人や企業が増えることにより、心の豊かさを実感できる素地や環境が生まれ、その大切さを日々の生活やビジネスを通して継承することができれば、こんなに楽しく嬉しいことはないでしょう。

2014 年 9 月 11 日
株式会社ソーシャルキャピタル
代表取締役 昆野直樹